

一般低所得世帯の消費データの充実・活用方法について

全国家計構造調査実施時点以降の社会経済情勢 の変化の反映方法に係る検討課題について

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

Ministry of Health, Labour and Welfare

2. 調査実施時点以降の社会経済情勢の変化の反映方法

第52回社会保障審議会生活保
護基準部会令和7年6月24日

資料4

検討事項（案）：令和6年全国家計構造調査の調査時点から、今回の検証作業のとりまとめ時点までの社会経済情勢の変化の反映方法

- 生活扶助基準については、一般低所得世帯の消費実態や社会経済情勢などを総合的に勘案して、必要に応じ改定を行っている。
- 令和5年度見直しでは、本部会の令和4年検証結果を反映することを基本としつつ、足下の社会経済情勢等を総合的に勘案し、令和元年当時の消費実態の水準（検証結果の反映後）に一人当たり月額1,000円を特例的に加算する等、当面2年間（令和5～6年度）の特例的・臨時的な措置を実施した。
- 令和7年度の見直しにおいても、令和5～6年度の臨時的・特例的な対応の措置時から一定期間が経過し、その間も物価・賃金などが上昇基調にあることを背景として消費が緩やかに増加していることも考慮し、社会経済情勢等を総合的に勘案して、令和元年当時の消費実態の水準に一人当たり月額1,500円を特例的に加算する等、当面2年間（令和7～8年度）の臨時的・特例的な措置を実施することとした。
- 令和4年検証の報告書においても、「生活扶助基準の検証に用いた2019年全国家計構造調査の実施時点以降、新型コロナウイルス感染症だけでなく足下の物価上昇を背景として、消費実態等の社会経済情勢が変化していることについては、適切に配慮する必要がある。」とされ、検証結果を踏まえる上での留意点として、検証時点からの社会経済情勢の変化が挙げられていた。
- 今後の生活扶助基準の見直しに当たっては、一般低所得世帯の消費実態等に関するデータの充実に取り組み、当該データを活用して検討を行うこととしており、「経済財政運営と改革の基本方針2025」（令和7年6月13日閣議決定）においては、「生活扶助基準の次回見直しに向け、一般低所得世帯の消費データの充実・活用に取り組み、社会経済情勢等の動向を踏まえた必要な対応を検討する。」とされている。

⇒ 今回の検証に用いる予定の令和6年（2024年）全国家計構造調査の調査時点から、検証作業のとりまとめ時点までの消費実態等の社会経済情勢の変化をどのように捉えるか。その際、一般低所得世帯の消費データについて、具体的にどのような情報の充実が必要となり、その充実・活用の方法として具体的にどのような手法をとることが考えられるか。

一般低所得世帯の消費データの充実・活用の方法について

- 一般低所得世帯の消費データの充実・活用の方法についての論点案…… P 5
- 消費に関する主な統計調査（基幹統計）の概要…… P 6
- 一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討…… P 7～17

一般低所得世帯の消費データの充実・活用の方法についての論点案

【論点案】

- ① 一般低所得世帯の消費データについて、具体的にどのような情報の充実が必要となり、その充実・活用の方法として具体的にどのような手法をとることが考えられるか。
 - ・ 消費に関する調査を新たに実施することや、既存の消費に関する調査の調査規模を拡大することについて、調査に係る費用、調査実施主体や調査世帯の負担を考慮する必要があるが、どのように考えるか。
 - ・ 令和9年改定に向けた当面の現実的な対応として、既存のデータを活用しつつ、一般低所得世帯の消費データによる推計精度の向上を図ることが考えられるが、具体的な方策としてどのような対応が考えられるか。
 - ・ 総務省において公表している世帯消費動向指数において、家計調査による世帯の消費動向をよりの確に把握するため、統計的手法によって補正・補強し、標本規模を疑似的に拡大し、推計精度の向上を図っている。世帯消費動向指数の取組も参考としつつ、統計的手法により推計精度を向上する手法について検討してはどうか。
 - ・ 統計的手法により家計調査の推計精度を向上する方法として、2人以上世帯データを用いる場合の世帯分布調整（世帯主の年齢や世帯人数の変化の影響を除去）や、外れ値の処理が考えられるが、これらの手法について効果的な方法と言えるか。より効果的な手法とするための改善方法はあるか。
- ② その他、一般低所得世帯の消費データの充実・活用の方法としてどのようなことが考えられるか。

消費に関する主な統計調査（基幹統計）の概要

- 消費に関する既存の主な統計調査は以下のとおり。
- 既存の消費に関する調査内容を踏まえて、一般低所得世帯に関するどのような情報の充実が必要か。

調査名	調査頻度	目的・性格	調査対象	調査事項等	直近の調査時期
全国家計構造調査 (総務省)	5年毎	家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする。	約40,000世帯(基本調査)	日々の家計の収入と支出、年間収入、預貯金などの金融資産、借入金、世帯構成、世帯員の就業・就学状況、現住居の状況 等	令和6年 (2024年) 10～11月
家計調査 (総務省)	毎月	国民生活における家計収支の実態・動向を把握し、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を提供することを目的とする。	約9,000世帯	日々の家計上の収入及び支出、世帯及び世帯員の属性、住居の状態に関する事項、貯蓄・負債の保有状況 等	・令和7年 (2025年)8月 ・令和6年 (2024年)平均

一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討①

- 消費動向指数（CTI: Consumption Trend Index）は、家計調査の結果を補完し、消費の動向を捉える速報性の高いとして総務省統計局が公表している消費指標。世帯消費動向指数では、家計消費単身モニター調査、家計消費状況調査の結果等を統計的手法によって補正・補強し、標本規模を擬似的に拡大、推計精度を向上させている。
- 消費動向指数は所得階層別の結果がないため、低所得世帯の消費実態に資するデータの充実・活用に資するものではないが、統計的手法によって推計精度を向上する手法について参考とできるのではないか。

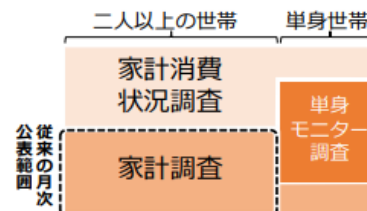
消費動向指数（CTI）の概要

消費動向をマクロ・ミクロの両面から捉える速報性の高い消費指標：消費動向指数（CTI : Consumption Trend Index）を2018年1月分から参考指標として毎月公表

世帯消費動向指数 （CTIミクロ）

世帯の平均消費支出額（10大費目別、世帯類型別など）の月次動向を示す統計指標

- ◆ 家計調査（標本規模：二人以上の世帯 約8千、単身世帯 約7百）の結果を、
 - 家計消費単身モニター調査（標本規模：2千4百）
 - 家計消費状況調査（標本規模：約3万）の結果等と統計的手法によって補正・補強し、標本規模を擬似的に拡大、推計精度を向上



総消費動向指数 （CTIマクロ）

国内経済における個人消費総額（GDPにおける家計最終消費支出）の月次動向を示す統計指標

- ◆ GDP統計（家計最終消費支出）をターゲットとして、最新の動向を推測
- ◆ GDP統計の四半期別公表値では観測できない月次の値を時系列回帰モデルによって推計
- ◆ 2022年12月に、ビッグデータ利活用の成果に関する報告書をウェブサイトに掲載

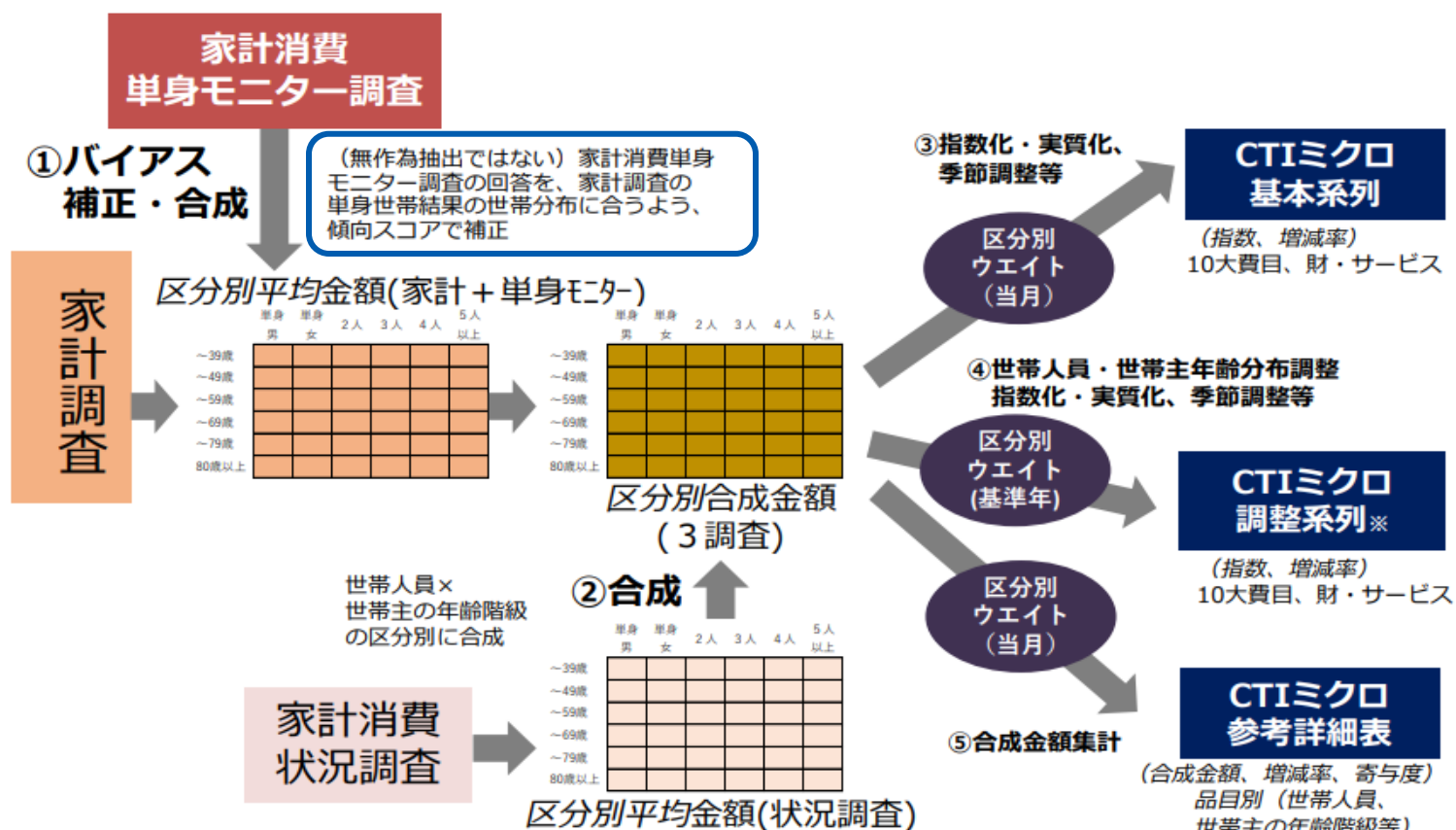
出典：消費統計研究会（総務省統計局）資料より抜粋。

※ 消費動向指数の（CTI）の推計方法については、総務省統計局第25回消費統計研究会の資料2に掲載されている。

一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討②

- 消費動向指数において、世帯構造（年齢や人数など）の変化が消費支出の推移に与える影響を除去した消費動向を示す調整系列を公表している。
- 世帯消費動向指数において、高額で購入頻度の少ない財・サービスの支出金額を約3万世帯に対して調査している家計消費状況調査の結果を家計調査の結果に合成することで、推計精度の向上を図っている。（次ページ）

世帯消費動向指数の推定方法の概要

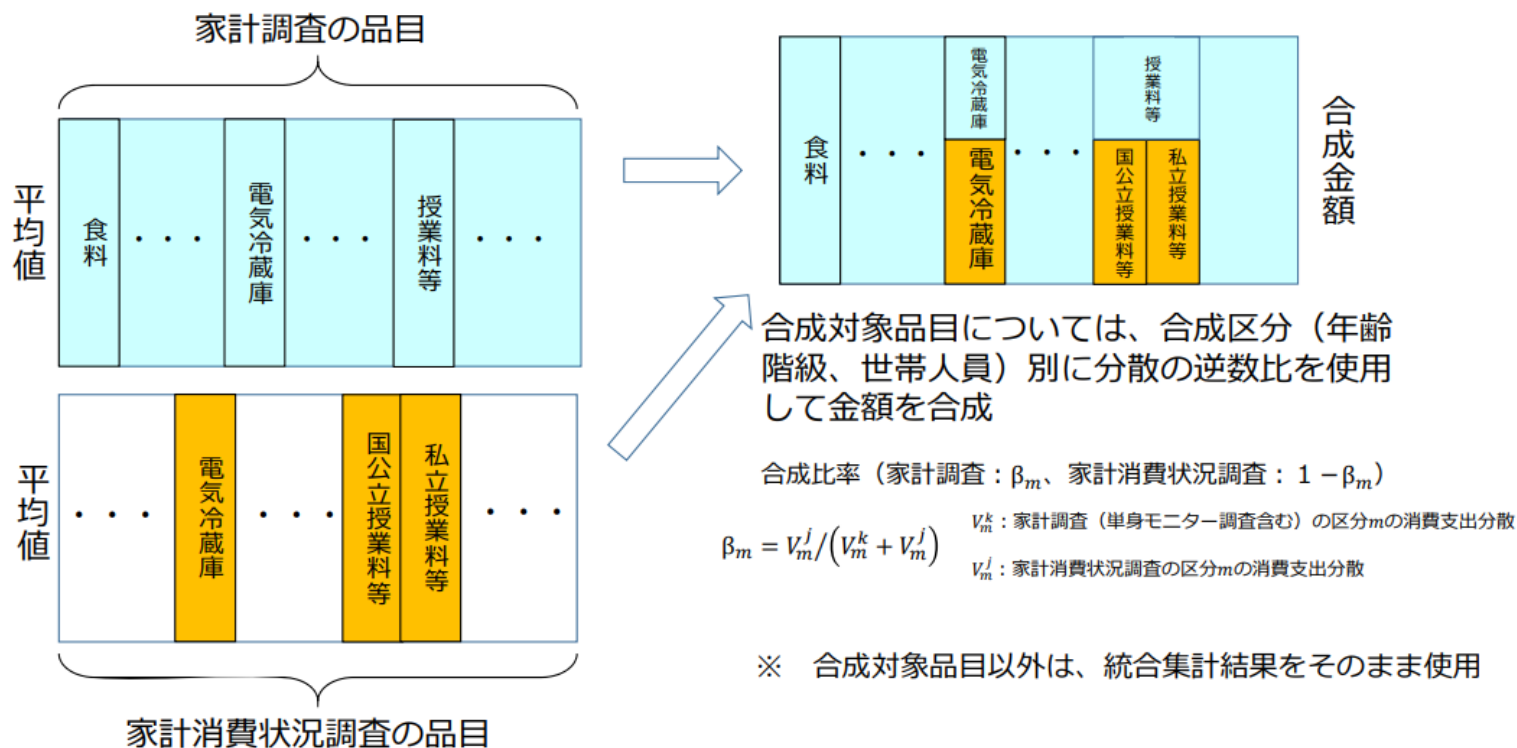


※ 調整系列とは、世帯主の年齢階級の分布と世帯人員の分布を基準年で固定して算出した世帯消費動向指数。世帯構造（年齢や人数など）の変化が消費支出の推移に与える影響を除去した消費動向を示す系列。

- 世帯消費動向指数における家計消費状況調査結果の合成方法は以下のとおり。

②家計消費状況調査結果の合成

- 「家計消費状況調査」では、全国の約3万世帯に対し、高額で購入頻度の少ない財・サービスの支出金額を調査
- 家計消費状況調査の区分別平均金額を、家計調査及び家計消費単身モニター調査の統合集計結果（二人以上の世帯の場合、家計調査結果）に合成



一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討④

- 家計消費状況調査においては、高額で購入頻度の少ない50品目の支出金額を調査している。支出金額について高額順にみた品目の支出金額、支出世帯割合は以下のとおり。
- 2人以上の世帯のうち勤労者世帯において、支出金額平均が1,000円以上、支出世帯割合が5%未満かつ生活扶助の対象である品目は、「スマートフォン・携帯電話の本体価格」及び「エアコン」のみ。

《2人以上の世帯の勤労者世帯》

高額順	品目	支出金額	支出世帯 (1万分比)	生活扶助対 象外の費目
1	スマートフォン・携帯電話などの通信、通話使用料	10,679	9,113	
2	自動車（新車）	6,122	52	対象外
3	自動車（中古車）	5,809	42	対象外
4	家屋に関する設備費・工事費・修理費	4,556	184	対象外
5	インターネット接続料	3,630	7,758	
6	自動車整備費	2,753	602	対象外
7	自動車保険料（任意）	2,508	1,457	対象外
8	私立授業料等（幼稚園～大学、専修学校）	2,484	681	対象外
9	葬儀・法事費用	2,206	48	対象外
10	スマートフォン・携帯電話の本体価格	1,599	355	
11	宿泊料	1,311	914	
12	給排水関係工事費	1,275	160	対象外
13	出産以外の入院料	1,201	163	対象外
14	エアコン	1,010	105	
15	補習教育費	994	1,438	
16	バック旅行費（国内）	955	207	
17	信仰関係費	752	270	
18	庭・植木の手入れ代	601	68	
19	自動車教習料	574	50	対象外
20	バック旅行費（外国）	555	28	
21	スポーツ施設使用料	537	982	
22	自動車保険料（自賠責）	523	310	対象外
23	航空運賃	511	242	
24	テレビ	511	68	
25	パソコン（タブレット型を含む。周辺機器・ソフトは除く）	452	128	

高額順	品目	支出金額	支出世帯 (1万分比)	生活扶助対 象外の費目
26	冷蔵庫	435	65	
27	洗濯機	434	75	
28	仕送り金	420	374	
29	国公立授業料等（幼稚園～大学、専修学校）	397	771	対象外
30	自動車以外の原動機付輸送機器	322	14	対象外
31	婦人用スーツ・ワンピース	316	318	
32	楽器（部品を含む）	256	60	
33	掃除機	248	117	
34	装身具（アクセサリ類）	205	149	
35	背広服	202	184	
36	布団	188	188	
37	出産入院料	175	14	対象外
38	拳式・披露宴費用	166	12	
39	応接セット	159	25	
40	ベッド	85	46	
41	食卓セット	84	57	
42	腕時計	80	101	
43	食器戸棚	69	26	
44	机・いす（事務用・学習用）	57	78	
45	ビデオデッキ	56	34	
46	たんす	53	50	
47	ゲーム機（ソフトは除く）	43	37	
48	和服	42	29	
49	カメラ（交換レンズのみを含む。使い捨てのカメラは除く）	34	24	
50	ビデオカメラ	25	6	

※「支出金額」は「2人以上の世帯のうち勤労者世帯」のうち年間収入階級200～300万円の世帯平均、
「支出世帯（1万分比）」は「2人以上の世帯のうち勤労者世帯」の全体平均の値。

資料：令和6(2024)年家計消費状況調査

一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討⑤

<統計的な手法などにより消費動向の推計精度を向上させる方策の例①>

- 2人以上勤労者世帯は、世帯主の年齢階級の分布や世帯人数の分布が変化するため、世帯消費動向指数の分布調整系列を参考として、世帯構造（年齢や世帯人数）の変化が消費支出の変化に与える影響を除去して消費動向を見てはどうか。

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 原数値》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	160,871	156,730	154,534	162,125	163,960	170,674
指数	100.0	97.4	96.1	100.8	101.9	106.1
対前年比	-	-2.6%	-1.4%	4.9%	1.1%	4.1%
世帯主の平均年齢（歳）	52.0	53.3	52.0	53.3	53.3	54.4
世帯人員数（人）	2.8	2.8	2.9	2.7	2.7	2.7

資料：家計調査特別集計

世帯分布調整の方法

令和元年における世帯主年齢、世帯人数の分布

	2人	3人	4人	5人以上
～39歳				
40～49歳				
50～59歳				
60～69歳				
70～79歳				
80歳以上				

各年調査における世帯主年齢、世帯人数別の生活扶助相当支出額

	2人	3人	4人	5人以上
～39歳				
40～49歳				
50～59歳				
60～69歳				
70～79歳				
80歳以上				

令和元年の世帯分布
で加重平均

各年における
世帯分布調整後の
平均支出額

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 世帯分布調整値》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	160,683	155,460	155,290	161,139	164,656	170,610
指数	100.0	96.7	96.6	100.3	102.5	106.2
対前年比	-	-3.3%	-0.1%	3.8%	2.2%	3.6%
影響度	-	0.7%pt	-1.3%pt	1.1%pt	-1.1%pt	0.5%pt

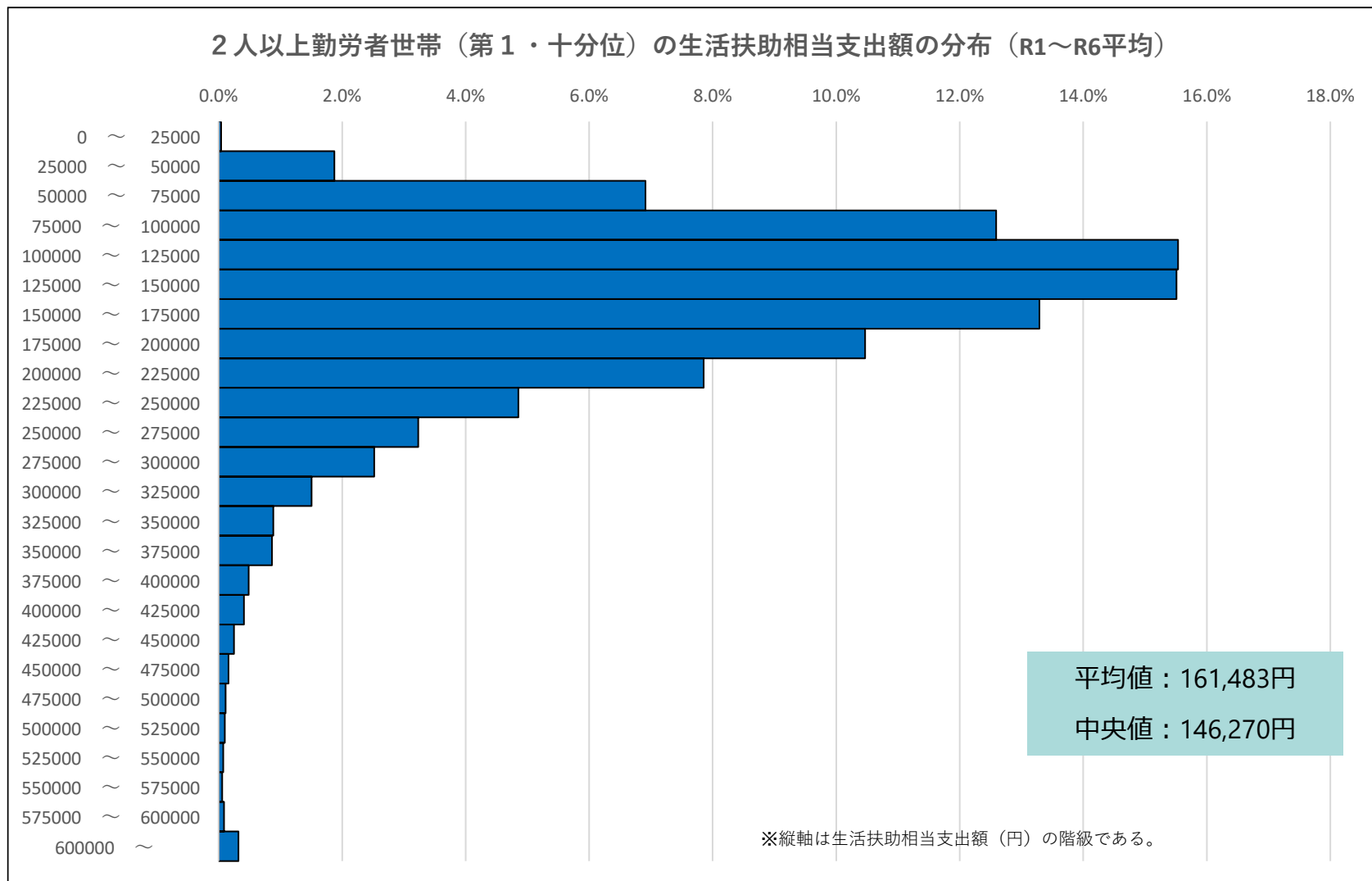
注1 「家計調査」の特別集計結果。

注2 世帯分布調整値の算出では、世帯主年齢および世帯人数の組み合わせで分類した構成比については令和元年1月～12月平均を用いた。

注3 「影響度」は生活扶助相当支出（原数値）の対前年比から生活扶助相当支出（世帯分布調整値）の対前年比を差し引いたものであり、世帯構造の変化が対前年比に与えていた影響の度合いを示す指標である。

一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討⑥

- 2人以上勤労者世帯（第1・十分位）における生活扶助相当支出の分布を見ると、支出額が極めて大きい世帯が一定程度存在している。
- 一般論として、平均値は中央値と比較すると支出額が非常に多い世帯の支出額の影響を受けやすい。



一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討⑦

＜統計的な手法などにより消費動向の推計精度を向上させる方策の例②＞

- 過去の生活保護基準部会の検証において、消費の外れ値を除外するなどの処理をして分析した実績があり、その方法も参考として、外れ値の取扱いをどのようにするか検討してはどうか。

生活保護基準部会における外れ値の取扱い

	基準体系の検証	水準の検証
平成29(2017)年 検証	① 第1類相当支出、第2類相当支出について、99%tile値を超える観測値について、99%tile値に置き換える処理（トップコーディング）を実施。 ② 第1類相当支出、第2類相当支出のいずれかがゼロであるサンプルは除去。	夫婦子1人世帯の第1・十分位の生活扶助相当支出額について、外れ値：平均±2σを除外した場合の額と、外れ値：平均±3σを除外した場合の額を算出。
令和4(2022)年 検証	外れ値の処理なし ※ 頻度の低い消費支出の状況を反映できなくなってしまう可能性があることから、被説明変数の消費支出についてトップコーディングは行わないこととした。 ※ ln（第1類相当支出）について平均+3.5σを超えるサンプルは観測されなかった。また、ln（第2類相当支出）について平均+3.5σを超えるサンプルは8世帯観測されたが、仮にこれらの値を平均+3.5σの値に置き換えて同様の方法で消費較差指数の算出を行った場合でも、算出結果にほぼ影響がないことを確認している。	外れ値の処理なし ※ 生活扶助相当支出の対数について、平均+3σを超えるサンプルは観測されなかった。

家計調査による低所得世帯の消費動向を把握する際の外れ値処理として考えられる例

外れ値を検出する基準	①平均±2σ、②平均±3σ
外れ値の処理方法	①平均±2σまたは平均±3σに置き換え（トップコーディング）、②外れ値を除外（トリム平均）、③処理しない

一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討⑧

○ 2人以上勤労者世帯（第1・十分位）における生活扶助相当支出について、外れ値を処理した場合の消費動向は以下のとおり。

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 原数値》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	160,871	156,730	154,534	162,125	163,960	170,674
指数	100.0	97.4	96.1	100.8	101.9	106.1
対前年比	-	-2.6%	-1.4%	4.9%	1.1%	4.1%
集計世帯数	439	450	421	436	432	422

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 トリム平均（3σ）》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	155,219	151,717	149,741	155,328	159,426	164,277
指数	100.0	97.7	96.5	100.1	102.7	105.8
対前年比	-	-2.3%	-1.3%	3.7%	2.6%	3.0%
影響度		-0.3pt	-0.1pt	1.2pt	-1.5pt	1.1pt
除外世帯数（上側）	6	6	7	6	6	7
除外世帯数（下側）	0	0	0	0	0	0

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 トリム平均（2σ）》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	150,411	147,853	144,217	151,593	154,232	159,371
指数	100.0	98.3	95.9	100.8	102.5	106.0
対前年比	-	-1.7%	-2.5%	5.1%	1.7%	3.3%
影響度		-0.9pt	1.1pt	-0.2pt	-0.6pt	0.8pt
除外世帯数（上側）	16	15	17	14	17	17
除外世帯数（下側）	0	0	0	0	0	0

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 トップコーディング（3σ）》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	159,030	154,440	153,344	159,123	162,336	168,707
指数	100.0	97.1	96.4	100.1	102.1	106.1
対前年比	-	-2.9%	-0.7%	3.8%	2.0%	3.9%
影響度		0.3pt	-0.7pt	1.1pt	-0.9pt	0.2pt

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 トップコーディング（2σ）》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	157,013	152,895	151,333	157,331	160,500	166,412
指数	100.0	97.4	96.4	100.2	102.2	106.0
対前年比	-	-2.6%	-1.0%	4.0%	2.0%	3.7%
影響度		0.0pt	-0.4pt	0.9pt	-0.9pt	0.4pt

- 注1 家計調査の特別集計。
- 注2 「指数」は令和元年を100とする指数である。
- 注3 「トップコーディング（ $k\sigma$ ）」は生活扶助相当支出が μ （平均） $\pm k\sigma$ （標準偏差）の範囲外にある観測値について、上側のレコードについては $\mu + k\sigma$ に、下側のレコードについては $\mu - k\sigma$ にそれぞれ置き換えて平均値を計算したものである。
- 注4 「トリム平均（ $k\sigma$ ）」は生活扶助相当支出が $\mu \pm k\sigma$ の範囲外にある観測値を除外して平均値を計算したものである。
- 注5 「影響度」は生活扶助相当支出（原数値）の対前年比から外れ値を処理した場合の生活扶助相当支出の対前年比を差し引いたものであり、外れ値が対前年比に与えていた影響の度合いを示す指標である。
- 注6 「集計世帯数」および「除外世帯数（上側・下側）」は月次の計数の年平均である。

（参考）世帯消費動向指数（CTIミクロ） 2人以上（勤労者）世帯・分布調整値

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出	—	100.0	99.7	102.6	105.6	107.2
対前年比	—	—	-0.3%	2.9%	2.9%	1.5%

一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討⑨

○ 生活扶助相当支出の対前年比に対して、外れ値が及ぼしている影響を費目ごとにみると、その他の消費支出のうち「贈与金」や「国内遊学仕送り金」が大きく影響していることが多い。

●外れ値の影響度が大きい費目について（2人以上勤労者世帯（第1・十分位））

	令和元年（2019年）					令和2年（2020年）					令和3年（2021年）				
	原数値	トリム平均	範囲外の平均	対前年比	影響度	原数値	トリム平均	範囲外の平均	対前年比	影響度	原数値	トリム平均	範囲外の平均	対前年比	影響度
生活扶助相当支出額	160,871	155,219	550,619	-	-	156,730	151,717	767,707	-2.57%	-0.32%pt	154,534	149,741	459,320	-1.40%	-0.10%pt
食料	60,535	59,617	120,096	-	-	60,205	59,697	110,030	-0.54%	-0.24%pt	58,853	58,159	102,875	-2.25%	0.12%pt
住居	506	142	25,334	-	-	249	234	1,936	-50.90%	-0.21%pt	251	206	3,806	0.97%	0.02%pt
光熱・水道	19,477	19,407	24,200	-	-	19,209	19,154	24,524	-1.38%	-0.01%pt	19,534	19,475	23,458	1.69%	0.00%pt
家具・家事用品	8,220	7,466	58,528	-	-	8,662	7,617	99,632	5.38%	0.19%pt	9,442	8,548	67,590	9.01%	-0.09%pt
被服及び履物	7,042	6,870	18,613	-	-	5,638	5,346	27,059	-19.95%	0.08%pt	5,791	5,439	27,370	2.73%	0.04%pt
保健医療	4,223	4,149	9,438	-	-	4,554	4,516	7,484	7.84%	-0.02%pt	4,654	4,307	26,330	2.19%	0.20%pt
交通・通信	14,794	14,426	41,574	-	-	13,911	13,743	27,791	-5.97%	-0.12%pt	13,893	13,819	19,145	-0.13%	-0.06%pt
教育	1,055	1,069	126	-	-	952	961	326	-9.79%	0.00%pt	1,069	765	21,754	12.31%	0.20%pt
教養娯楽	15,846	14,895	84,343	-	-	14,751	13,743	160,780	-6.91%	0.05%pt	14,173	13,559	56,640	-3.92%	-0.24%pt
その他の消費支出	29,172	27,179	168,366	-	-	28,599	26,706	308,145	-1.96%	-0.03%pt	26,873	25,465	110,353	-6.04%	-0.30%pt
カット代	359	351	815	-	-	346	340	1,050	-3.59%	0.00%pt	321	323	257	-7.21%	0.00%pt
他の理美容代	1,027	991	3,473	-	-	1,022	1,007	2,641	-0.52%	-0.01%pt	1,091	1,070	2,500	6.78%	0.00%pt
化粧クリーム	254	249	594	-	-	294	294	303	15.91%	0.00%pt	233	227	512	-20.98%	0.00%pt
他の化粧品	950	897	4,292	-	-	821	813	2,133	-13.59%	-0.03%pt	780	774	1,062	-5.05%	0.00%pt
ハンドバッグ	277	275	316	-	-	91	73	1,735	-67.25%	0.01%pt	160	119	3,160	76.51%	0.02%pt
旅行用かばん	41	41	44	-	-	15	15	0	-62.94%	0.00%pt	9	9	14	-39.08%	0.00%pt
装身具	162	160	236	-	-	134	90	5,786	-17.56%	0.03%pt	87	84	226	-34.93%	-0.03%pt
腕時計	41	41	7	-	-	533	44	110,276	1207.41%	0.30%pt	18	16	108	-96.64%	-0.31%pt
たばこ	1,433	1,447	476	-	-	1,557	1,546	1,758	8.70%	0.02%pt	1,757	1,754	2,161	12.82%	-0.01%pt
信仰・祭祀費	489	450	3,199	-	-	799	799	608	63.15%	-0.02%pt	492	473	1,435	-38.39%	0.01%pt
祭具・墓石	51	51	50	-	-	92	92	49	80.83%	0.00%pt	88	86	143	-3.58%	0.00%pt
婚礼関係費	0	0	0	-	-	0	0	0	-	0.00%pt	0	0	0	-	0.00%pt
医療保険料	972	948	3,354	-	-	1,131	1,079	5,156	16.41%	0.02%pt	1,041	1,014	2,954	-8.02%	-0.02%pt
他の非貯蓄型保険料	4,969	4,867	13,300	-	-	5,052	5,025	6,164	1.68%	-0.04%pt	5,487	5,364	15,486	8.61%	0.06%pt
寄付金	104	105	38	-	-	54	53	222	-47.82%	0.00%pt	146	144	298	167.99%	0.00%pt
他の諸雑費のその他	548	531	1,695	-	-	352	342	874	-35.79%	0.00%pt	442	415	2,588	25.57%	0.01%pt
世帯主こづかい	4,199	4,078	12,240	-	-	4,359	4,310	7,215	3.83%	-0.04%pt	3,404	3,324	8,733	-21.91%	0.02%pt
他のこづかい	881	870	1,650	-	-	1,104	1,107	791	25.31%	-0.01%pt	977	921	4,063	-11.50%	0.04%pt
贈与金	4,978	3,883	79,736	-	-	3,378	3,118	30,518	-32.13%	-0.50%pt	3,402	2,922	29,384	0.69%	0.14%pt
住宅関係負担費	1,370	1,365	1,740	-	-	1,352	1,347	1,644	-1.33%	0.00%pt	1,412	1,385	2,977	4.43%	0.01%pt
国内遊学仕送り金	863	480	28,247	-	-	1,285	469	117,036	48.92%	0.28%pt	884	587	16,197	-31.20%	-0.33%pt
他の仕送り金	888	880	1,531	-	-	580	541	3,612	-34.60%	0.02%pt	562	454	6,651	-3.13%	0.04%pt

※ 各項目の定義等については、次ページの注釈を参照。

（参考）家計調査の収支項目分類表における内容例示

贈与金：せん別 香典 見舞金 謝礼金 祝儀 持参金 結納金 財産分与金 遺産分与金
国内遊学仕送り金：学校教育法に定める学校及び国内の予備校在学者に対する仕送り金。旅行費，クラブ活動費なども含む。

一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討⑩

●外れ値の影響度が大きい費目について（２人以上勤労者世帯（第１・十分位）（続き））

	令和４年（2022年）					令和５年（2023年）					令和６年（2024年）				
	原数値	トリム平均	範囲外の平均	対前年比	影響度	原数値	トリム平均	範囲外の平均	対前年比	影響度	原数値	トリム平均	範囲外の平均	対前年比	影響度
生活扶助相当支出額	162,125	155,328	712,551	4.91%	1.18%pt	163,960	159,426	638,749	1.13%	-1.51%pt	170,674	164,277	569,546	4.09%	1.05%pt
食料	61,754	61,328	95,334	4.93%	-0.20%pt	65,307	64,711	121,894	5.75%	0.10%pt	68,815	67,763	132,887	5.37%	0.26%pt
住居	809	252	36,040	222.34%	0.33%pt	201	201	171	-75.23%	-0.35%pt	436	260	11,435	117.31%	0.11%pt
光熱・水道	21,650	21,593	25,923	10.83%	0.00%pt	21,121	20,986	33,373	-2.45%	0.05%pt	22,563	22,445	31,148	6.83%	-0.01%pt
家具・家事用品	8,509	7,687	65,617	-9.88%	-0.08%pt	7,564	7,325	31,366	-11.11%	-0.37%pt	9,933	8,641	96,917	31.32%	0.64%pt
被服及び履物	6,191	5,978	22,530	6.91%	-0.10%pt	6,332	5,741	100,677	2.27%	0.23%pt	6,563	6,068	33,575	3.65%	-0.07%pt
保健医療	4,763	4,426	40,799	2.33%	-0.02%pt	4,684	4,494	23,025	-1.65%	-0.09%pt	4,775	4,701	8,939	1.94%	-0.08%pt
交通・通信	13,209	13,086	23,732	-4.92%	0.03%pt	13,895	13,573	41,915	5.19%	0.12%pt	13,051	12,798	29,056	-6.07%	-0.05%pt
教育	1,006	843	11,166	-5.94%	-0.10%pt	985	862	26,241	-2.06%	-0.03%pt	938	891	3,573	-4.72%	-0.05%pt
教養娯楽	15,202	14,540	60,037	7.26%	0.01%pt	16,877	15,959	110,264	11.01%	0.15%pt	17,185	15,993	83,523	1.83%	0.15%pt
その他の消費支出	29,032	25,596	331,373	8.03%	1.28%pt	26,996	25,574	149,822	-7.01%	-1.29%pt	26,416	24,717	138,492	-2.15%	0.13%pt
カット代	411	413	304	28.04%	0.00%pt	408	377	3,388	-0.73%	0.02%pt	430	430	448	5.25%	-0.02%pt
他の理美容代	1,339	1,276	6,136	22.66%	0.03%pt	1,136	1,103	4,342	-15.12%	-0.02%pt	1,161	1,116	3,690	2.18%	0.01%pt
化粧クリーム	307	284	2,757	31.97%	0.01%pt	232	218	1,474	-24.31%	-0.01%pt	209	204	476	-9.99%	-0.01%pt
他の化粧品	886	872	2,008	13.67%	0.01%pt	961	929	4,466	8.44%	0.01%pt	1,054	1,045	1,571	9.62%	-0.01%pt
ハンドバッグ	163	156	988	2.05%	-0.02%pt	125	116	811	-23.39%	0.00%pt	197	151	2,991	57.20%	0.02%pt
旅行用かばん	14	14	0	49.66%	0.00%pt	48	31	2,144	241.99%	0.01%pt	38	37	124	-19.37%	-0.01%pt
装身具	192	193	91	121.12%	0.00%pt	171	116	4,566	-10.88%	0.03%pt	138	134	370	-19.28%	-0.03%pt
腕時計	28	28	15	58.79%	0.00%pt	26	26	0	-8.06%	0.00%pt	45	44	78	70.58%	0.00%pt
たばこ	1,532	1,528	1,344	-12.81%	0.00%pt	1,294	1,297	1,041	-15.51%	0.00%pt	1,459	1,446	2,446	12.74%	0.01%pt
信仰・祭祀費	709	551	12,522	44.08%	0.09%pt	668	638	4,896	-5.81%	-0.08%pt	572	547	1,820	-14.39%	0.00%pt
祭具・墓石	263	205	4,680	197.61%	0.04%pt	135	110	1,700	-48.85%	-0.02%pt	63	57	410	-53.27%	-0.01%pt
婚礼関係費	59	4	6,003	-	0.04%pt	2	2	0	-97.22%	-0.03%pt	49	0	5,351	2870.87%	0.03%pt
医療保険料	913	865	4,548	-12.24%	0.01%pt	1,107	1,096	2,227	21.24%	-0.02%pt	1,196	1,156	3,396	8.00%	0.02%pt
他の非貯蓄型保険料	4,859	4,793	9,378	-11.43%	-0.04%pt	5,189	5,022	25,150	6.78%	0.06%pt	5,351	5,255	10,972	3.12%	-0.05%pt
寄付金	114	108	443	-21.87%	0.00%pt	144	111	6,154	26.43%	0.02%pt	154	149	356	6.94%	-0.02%pt
他の諸雑費のその他	621	445	15,460	40.59%	0.10%pt	506	479	2,535	-18.60%	-0.09%pt	367	363	582	-27.34%	-0.01%pt
世帯主こづかい	3,036	2,973	7,671	-10.82%	-0.01%pt	2,770	2,692	11,930	-8.74%	0.01%pt	2,693	2,638	5,901	-2.79%	-0.02%pt
他のこづかい	876	711	9,010	-10.36%	0.07%pt	975	904	5,736	11.24%	-0.06%pt	652	592	3,822	-33.05%	-0.01%pt
贈与金	4,785	3,447	127,776	40.65%	0.54%pt	3,203	2,882	24,496	-33.06%	-0.64%pt	3,089	2,857	18,055	-3.57%	-0.06%pt
住宅関係負担費	1,040	1,026	2,260	-26.34%	-0.01%pt	1,896	1,890	2,415	82.28%	-0.01%pt	1,570	1,563	1,986	-17.19%	0.00%pt
国内遊学仕送り金	1,968	891	106,937	122.59%	0.50%pt	1,427	1,049	27,622	-27.49%	-0.44%pt	1,001	165	59,481	-29.89%	0.27%pt
他の仕送り金	799	767	2,185	42.13%	-0.05%pt	706	707	624	-11.63%	-0.02%pt	798	737	4,151	12.97%	0.04%pt

注１ 家計調査の特別集計結果。
注２ 「原数値」は生活扶助相当支出（原数値）である。
注３ 「トリム平均」は生活扶助相当支出の総額に関して $\mu \pm 3\sigma$ により判定した集計した値である。
注４ 「範囲外の平均」はトリム平均の計算から除外されたレコードにかかる平均値である。
注５ 「対前年比」は生活扶助相当支出（原数値）の対前年比である。
注６ 「影響度」は生活扶助相当支出（原数値）の対前年比から当該費目についてトリム平均に置き換えた場合の生活扶助相当支出の対前年比を差し引いたものであり、当該品目における外れ値が対前年比に与えていた影響の度合いを示す指標である。
注７ その他の消費支出に含まれる品目のうち、温泉・銭湯入浴料、理髪料、パーマメント代、理美容用電気器具、歯ブラシ、他の理美容用品、浴用・洗顔石けん、シャンプー、ヘアリンス・ヘアトリートメント、歯磨き、整髪・養毛剤、化粧水、乳液、ファンデーション、口紅、ヘアカラーリング剤、傘、通学用かばん、他のバッグ、他の身の回り用品、身の回り用品関連サービス、他の冠婚葬祭費、つきあい費、他の負担費については、影響度の絶対値が0.01%ptを超えることがなかったため省略している。

一般低所得世帯の消費実態に関するデータの充実・活用の検討⑪

＜統計的な手法などにより消費動向の推計精度を向上させる方策の例③＞

- 2人以上勤労者世帯（第1・十分位）における生活扶助相当支出について、平均値による消費動向と中央値による消費動向を比較した結果は以下のとおり。

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 原数値》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	160,871	156,730	154,534	162,125	163,960	170,674
指数	100.0	97.4	96.1	100.8	101.9	106.1
対前年比	—	-2.6%	-1.4%	4.9%	1.1%	4.1%
集計世帯数	439	450	421	436	432	422

《2人以上勤労者世帯 年収階級：第1・十分位 中央値》

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出（円）	145,336	141,646	139,822	146,053	151,112	153,653
指数	100.0	97.5	96.2	100.5	104.0	105.7
対前年比	—	-2.5%	-1.3%	4.5%	3.5%	1.7%
影響度		0.0%pt	-0.1%pt	0.5%pt	-2.3%pt	2.4%pt

- 注1 家計調査の特別集計結果。
注2 「指数」は令和元年を100とする指数である。
注3 「中央値」は各月における生活扶助相当支出の中央値の年平均である。
注4 「影響度」は生活扶助相当支出（原数値）の対前年比から生活扶助相当支出（中央値）の前年比を差し引いたものである。
注5 「集計世帯数」は月次の計数の年平均である。

（参考）世帯消費動向指数（CTIミクロ） 2人以上（勤労者）世帯・分布調整値

	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
生活扶助相当支出	—	100.0	99.7	102.6	105.6	107.2
対前年比	—	—	-0.3%	2.9%	2.9%	1.5%